



田原市地域コミュニティ連合会

会報第9号
2015. 6. 15

- 「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。
- 連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、交流スポーツ大会、市への要望活動などを行っています。

** 平成27年度 連合会役員 をお知らせします **

●代表理事

童浦校区会長		会長	中山校区会長		副会長	若戸校区会長		副会長兼会計
鈴木 博			小川 道夫			伊藤 茂紀		

●理事

六連校区会長		神戸校区会長		大草校区会長		田原東部校区会長		田原南部校区会長	
西山 正一		彦坂 雄三		彦坂 善弘		村上 誠		富田 育男	
田原中部校区会長		衣笠校区会長		野田校区会長		高松校区会長		赤羽根校区会長	
河合 潤二		藤城 正孝		河合 照人		柴田 陽助		鈴木 昇	
和地校区会長		堀切校区会長		伊良湖校区会長		亀山校区会長		福江校区会長	
河合 哲志		高瀬 勲		小久保 忠廣		真野 多正		宮川 敏彦	
清田校区会長		泉校区会長							
柳原 悦男		山内 六男							

「地域コミュニティ」＝「地域の助け合い」

地域に暮らす人々が、心のふれあい・相互理解・連帯意識を高め、みんなで手を取り合って、やすらぎと潤いのある地域社会を築くことが、地域コミュニティの目的です。

(注) 校区会長＝コミュニティ協議会会長の略

◆平成27年度 連合会活動方針（※1）

目標とする地域社会	“誰もが暮らしやすい社会”
活動目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくりの場
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 ③情報交換や交流イベント等により、連帯意識を高め、人づくりを進めましょう。

◆定期総会・定例理事会等を開催しました

4月16日（木）午前9時から、田原市役所において、「平成27年度田原市地域コミュニティ連合会定期総会」を開催しました。

総会では、本年度の代表役員の選出や、平成26年度の事業報告・決算、平成27年度活動方針および事業計画・予算の承認がなされました。

総会の席では連合会長になられた、**鈴木博連合会長（童浦校区会長）**が、「微力ですが、小川副会長、伊藤副会長の支えの下にがんばっていきたい。理事（校区会長）の皆さん、市の幹部の皆さん、ご支援ご協力お願いいたします。」と初心を述べ、小川副会長、伊藤副会長兼会計も「連合会長を助け、一生懸命努めたい。」と述べました。

総会終了後には「**定例理事会**」（※2）を開催し、市からの依頼事項等の報告を受け、また、午後は華山会館に会場を移して、連合会役員と市内全106の地区自治会長、市長はじめ市役所幹部職員出席のもと、「**地区行政連絡会**」を開催しました。

地区行政連絡会では、田原警察署からの「交通安全・防犯対策」への協力依頼をはじめ、市役所や諸団体から業務依頼、諸連絡の説明がなされ、自治会長さん方は真剣なまなざしで内容を確認していました。

また、連絡会終了後には理事、自治会長、市幹部としばしの間ですが、交流と情報交換等の場である交流会を開催しました。



●定期総会



●地区行政連絡会



◆平成27年度 事業計画・収支予算

■事業計画

定期総会	4月
定例理事会	毎月
地区行政連絡会	4月
交流スポーツ大会	6月
広報誌発行	6月・1月
先進地視察	7月
連合会要望活動	10月
地域懇談会	随時
市施策・公益活動等への協力	随時
市審議会等への委員参加	随時
地域コミュニティ活性化研究会運営	随時
連合会ホームページによる情報提供	随時

■収入

科目	金額（千円）	摘要
1 会費	1,200	各校区協議会負担金
2 市補助金	1,447	運営、計画推進費
3 繰越金	526	前年度繰越金
4 その他	1	雑入
計	3,174	

■支出

科目	金額（千円）	摘要
1 運営費	500	会議費・役員費・事務費
2 事業費	2,547	調査研究・計画推進・広報等
3 予備費	127	
計	3,174	

※1 活動方針

地域コミュニティによる自主的な地域づくりにあたり、地域社会の理想像や推進項目を定めたものです。持続的な活動のため、平成23年度に示された方針を継続して取り組んでいます。

※2 定例理事会

連合会が毎月開催している会議で、地域課題の意見交換や連絡調整を行っています。偶数月は田原市長はじめ市幹部も出席しています。



◆平成27年度監事 ○鈴木正直（田原市総務部長） ○竹内秀夫（大草コミュニティ協議会役員）

◆大草コミュニティ協議会

大草校区では、「大草校区まちづくり推進計画書」に定められた将来像、「豊かな自然と人の和で「安心・安全」大草校区」を目標に、地域づくりに取り組んでいます。

◆校区の課題・運営

校区の主な課題には「農村環境の整備」「歴史文化遺産の保存」「交通安全施設整備」「大草団地地区の高齢化、核家族化」などあり、その解決や地域の活性化に向け5つの専門部会（生活安全・企画・広報・環境・体育文化）を設け活動しています。

◆主な取り組み

地域の課題としてあげられている、高齢者世帯の増加がありますが、**大草団地地区**



●シルバーサロンなのはな



●市民館まつり

では、高齢者の孤立感をなくすため、会員23名で「**シルバーサロンなのはな**」を立ち上げました。団地集会所を利用して、毎月第3金曜日に「交流と仲間づくりを通して明るい生活を送る」ことを目指して活動しています。

また、**地域の子供たち**の安全確保や育成を大切に行っています。熟年友の会が中心メンバーとなり、大草小学校の**子供たちの登下校時の見守り**活動を実施するとともに、小学校の児童会がアルミ缶回収活動で得た収益で、校区へ福祉機器や健康機器を購入してくれたお礼に**感謝状を贈呈**するなど、子供たちの育成にも力を入れています。

大草校区まちづくり推進計画書

豊かな自然と人の和で「安心・安全」大草校区（寄附版）



平成19年3月策定・平成24年3月改訂
大草コミュニティ協議会

大草校区のあらまし

田原市の南部に位置し、北は汐川、南は雄大な太平洋に面しています。校区内には、ほうべや自然林、惣作古墳や一色七郎邸跡といった史跡が多くあり、自然と歴史文化の香り漂う校区です。

○人口 1,290人
○世帯 374世帯
○面積 約347ha
（平成27年3月末現在）

◆若戸校区コミュニティ協議会

若戸校区では、「若戸校区まちづくり推進計画書」に定められた将来像、「**人と自然と産業が共生する豊かで活力あるまち《若戸》**」の実現をめざし、地域づくりに取り組んでいます。

◆校区の課題・運営

校区の主な課題には「地震・津波への防災対策」「農業後継者の減少」「自然を生かした憩いの場づくり」「サーファーや釣り人との交流」などあり、その解決や地域の活性化に向け5つの専門部会（企画広報・生活環境・福祉・安全・体育レクリエーション）を設け活動しています。



●市民館まつり



●若戸小学校「ユリノキ」

◆主な取り組み

若戸小学校の5・6年生と合同で防災キャンプを実施しています。児童たちが自分で考えて、避難所の居住空間を実際に設置し、そこに宿泊体験をするものです。**地域と学校、家庭が連携することで、地域全体の防災意識の向上**に努めています。

また、昭和59年から続く小学校行事「**ゆりのき祭り**」を支援しています。樹齢70年を超え、学校のシンボルでもある「ユリノキ」にちなんで開催されている行事です。児童たちの一生懸命準備したお店で、**地域と学校の絆を深める行事**となっています。



若戸校区のあらまし

田原市の中南部に位置し、南は太平洋に面し、北側は半島を横断する山並みが連なり、西には市内最高峰の大山を望みます。地域はすべて市街化調整区域で国道42号沿いに集落を形成しています。

○人口 1,820人
○世帯 508世帯
○面積 約810ha
（平成27年3月末現在）

田原市地域コミュニティ活性化研究会

検討結果報告書

平成 26 年度 検討テーマ
「持続可能な自治会運営」



（報告書について）
自治会運営には、それぞれの地域の事情により、多くの課題があると
思われます。自治会役員になられた皆さんの課題解決に少しでもお役に立
てればと思い、検討報告書をまとめたものです。

平成27年3月 田原市地域コミュニティ活性化研究会
（田原市地域コミュニティ連合会専門委員会）

※報告書の詳細は連合会ホームページでご覧いただけます。

田原市地域コミュニティ連合会では、**専門委員会**として、**田原市地域コミュニティ活性化研究会**を設置し、自治会や校区協議会が抱えている「活動や運営上の課題」について、調査研究、検討を行い、地域の活動の参考になるようにと報告書をまとめています。

委員は連合会副会長を委員長として、連合会代表役員、地域役員経験者、女性団体代表、市民館主事、まちづくりアドバイザー経験市職員、学識者の13名で構成されています。

平成26年度は「**持続可能な自治会運営**」をテーマに4回の検討を重ねましたので、その結果について紹介させていただきます。

●社会環境の変化と自治会が抱える課題

田原市においても、職業の多様化の傾向が見られ、生活時間帯がそれぞれで大きく異なることや、ライフスタイルの多様化が進んでいます。また、地域によっては人口減少・少子高齢化の進み方が著しく、自治会活動の担い手の減少や、子供たちの減少による教育環境への影響等も心配されます。

●自治会の必要性

住みよい地域をつくるためにも、自治会運営が健全に行われることは大変重要なこととなっています。私たちが安心して暮らせる「**地域社会・住みよい環境**」をつくるため、そこに住む人たち

皆が「共助」の気持ちを持ち、地域の課題解決に向けて協力し合うことが大切となります。

●持続可能な自治会運営に向けて・・・

個人の価値観などが優先され、自治会活動が敬遠されがちではありますが、自治会加入、活動参加を継続するためには、参加する人にとって価値があり、やりがいのある自治会運営が必要となります。

本報告書では、少しでも自治会の役員となられた方、またこれからなられる方の参考になればと思います。また、各地域で行われている活動事例も掲載していますので、参考にいただければ幸いです。

◆提言「自治会で取り組むこと」

- ・自治会内の役割分担の明確化
- ・若い年代が参加しやすくなる自治会役職の設置
- ・継続した運営のための引継書の作成
- ・自治会活動PR
- ・幅広い年代が参加し、親睦を深める行事の開催等



●市民課窓口で加入促進リーフレットの配布

◆自治会の主な活動

- 地域課題等の意見集約・解決
- 災害時の助け合い活動
- 神社など地域固有の文化伝承
- 校区協議会との連携
- 交通安全活動
- ごみ集積所の維持管理
- 自治会活動等住民へ情報周知
- 夏祭りなど親睦行事の開催
- 子どもや高齢者の見守り
- 犯罪対策活動
- 道路や公園の清掃活動

連合会ホームページをご覧ください

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各校区のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

編集：田原市地域コミュニティ連合会事務局
（田原市役所 市民協働課）

電話 0531-23-3504
メール tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp
ホームページ http://tahara-komiren.com/